

# イクボスセミナー &イクボス宣言



2021年

12月14日（火）17:30-19:00

日本医科大学武蔵小杉病院 第一会議室  
+ オンライン（Webex）開催

時代に合わせた働き方を断行する上司（＝イクボス）の存在で、職員の満足度・健康度・仕事能力・貢献度が向上します。多様性のある集団で新しいモノや考え方を生み出していきましょう！  
管理職の方はもちろん、そうでない方も皆様のご参加をお待ちしています。

## 第1部 イクボスセミナー

# 誰もが活躍できる職場 活躍させる上司 ～仕事と私生活の両立環境は、経営戦略～

川島 高之 氏 NPO 法人  
ファザーリングジャパン 理事  
Takayuki Kawashima



1987年に慶応大学卒、三井物産に入社。上場会社の社長時代、働き方改革により3年間で利益8割増、株価2倍に。ファザーリング・ジャパン理事、内閣府や文科省の委員を歴任。家事や育児（Life）、会社社長や商社勤務（Work）、PTAやNPO（Social）の3つの経験を融合した講演が年200回以上。元祖イクボスとしてNHK「クローズアップ現代」で特集され、アエラ「日本を突破する100人」に選出。著書「いつまでも会社があると思うなよ」、「職場のムダ取り教科書」。

## 第2部 連携機関トップによる

# イクボス宣言!

坂本 篤裕 学校法人日本医科大学 理事長  
弦間 昭彦 日本医科大学 学長  
清水 一政 日本獣医生命科学大学 学長  
波間 隆則 アンファー株式会社 主任研究員

申込フォーム



参加対象 日本医科大学、日本獣医生命科学大学、  
アンファー株式会社に所属する全ての教職員

申込 会場定員 35名  
締切 12月13日

主催  
お問合せ  
お申込み

日本医科大学、日本獣医生命科学大学、アンファー株式会社  
しあわせキャリア支援センター 03-3822-2131（代）ext:5504、5502  
app-shien@nms.ac.jp <https://one-health.jp/>

## イクボスセミナー

「誰もが活躍できる職場 活躍させる上司 ～仕事と私生活の両立環境は、経営戦略～」

### 講演要旨

いまは共働きが大半で男性の育休も珍しくありません。また、地域活動や社会貢献、勉強や趣味、親の介護や子の看護などにより、働く時間と場所に制約のある職員が急増しています。

多くの医療機関や大学が、制度改革やDX化などで働き方改革を進めてきました。しかし、職員の意欲減退、離職者の増加、採用難などが改善されず、競争力低下に歯止めがかからない組織も少なくありません。

改善されない最大要因が、経営者や上司の固定化した価値観・仕事のやり方・男女の役割意識でしょう。

それらが、働き方改革を「形だけ」にしてしまい、仕事と私生活の両立（ワーク・ライフ・バランス）の妨げになっています。だから、時代に合わせた働き方を断行する上司（＝イクボス）の必要性が高まっています。

イクボスが多い組織では、職員の満足度・健康度・愛社精神・仕事能力・貢献度などが向上し、加えて多様性のある集団となるので新しいモノや考え方が組織内に生み出されます。

今回の講演では、「イクボスの心掛け」について、講師が経営者や上司として実践してきた次のようなことを、具体的事例を挙げながら説明します。

- ①部下のやる気を高めるには
- ②上司が持つべき覚悟とは
- ③職場の時間泥棒とは
- ④一体感のあるチームにするには、など

## イクボスとは？

職場で共に働く部下・スタッフの仕事と生活の両立を考え、

部下のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、

自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司（経営者・管理職）。

## あなたのイクボス度をチェック!



8 個以上チェックがあればあなたはイクボスです！

- 部下全員の家族構成を知っている
- 育児や介護のある部下の状況を把握している
- 育児や介護の休暇といった職場の制度を把握し、取得を呼びかけている
- 話下手な部下に、自分から話題を提供できる
- 部下が急にひとり抜けても対応できるよう方法を準備している
- 既存の方法を見直し、働き方に関するテクノロジーを活用している
- 労働時間の短縮をめざした生産性向上に取り組んでいる
- どんな環境でも結果を出せる自信がある
- 自分の健康に気を付けている
- 自分のプライベートを大切にしながら人生を楽しんでいる